

令和5年度

西多賀中学校区

小中連携だより



第2号 令和5年10月17日

発行 仙台市立金剛沢小学校

TEL 245-6553

FAX 245-8954

第2回小中連携全体会を行いました

清秋の候、西多賀中学校区の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本地区の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、今年度は8月21日に金剛沢小学校を会場として第2回全体会を行いました。今回は、第2回全体会で話し合われた、部会ごとの取組内容や連携の進め方についてお知らせいたします。また、併せて地域やご家庭のご協力を改めてお願い申し上げます。よろしくお願いたします。

○学力向上部会より

＜学力向上部会の目指す子供の姿＞

「話をしっかりと聞き、思いや考えを受け止める児童・生徒」

【小中共通ルール】

学習の約束3か条

- 1 話を最後までしっかりと聞く、向く、見る、うなづく+ほほえむ。
- 2 使う学習用具（鉛筆1本、消しゴム、赤青鉛筆、定規など）だけ机の上に出す。
- 3 次の授業の準備をしてから休む ※今年度の重要努力事項にしています。



【交流授業参観】

6月には小学校教員が中学1年生の授業を参観し、授業の在り方や子供たちの様子について共有を図りました。10月には中学校の職場体験発表会の様子を小学校6年生がオンラインで見学し、中学校生活に向けての意欲を高めました。

【Chromebook の活用状況】

Chromebook の活用状況について、各校の取組や持ち帰りについて共有しました。

(金剛沢小)

中学年以上は、毎日持ち帰りをしている。低学年については、週末のみ持ち帰りをしている。2年生以上は授業に頻繁に活用しており、1年生は今後授業で様々な使い方に取り組んでいく予定になっている。

(八木山南小)

高学年は毎日持ち帰りをしており、中学年は今後持ち帰りを検討中である。低学年は授業内で活用を行っている。

(西多賀中)

ロイロノートを中心に資料や課題の提示等、授業で頻繁に活用している。また、朝学習において「navima」を全学年自主学習の教材として使用している。その他、行事や集会、アンケート調査等にも積極的に活用しており、いつでも生徒が使用できるよう自己管理の下で利用している。

○生活向上部会より

＜生活向上部会の目指す子供の姿＞

「人と関わり自他を認め、生き生きとチャレンジする児童・生徒」

＜三校リーダーミーティング＞

- 1 日時 10月20日(金) 15:00～16:00
- 2 場所 西多賀中学校
- 3 参加児童生徒 各校男女混合3名程度
- 4 内容
 - ・学校紹介
 - ・提案と協議 ①三校あいさつ運動の活動の意義について
 - ②いじめ防止のためにどんなことができるか



＜Happiness Town Project ～ハピネスタウン・プロジェクト～＞

- 1 実施日 11月17日(金)
- 2 場所・時間 八木山南小学校 7:40～8:10 (学校周辺8地点)
金剛沢小学校 8:00～8:25 (学校周辺3地点)
- 3 内容 三校リーダーミーティングの話し合いを基にしたあいさつ運動
(いじめ防止きずなキャンペーンの一環)
- 4 取組 西多賀中学校の生徒が2つの小学校へ出向き、中学生と小学生が一緒になって地域の方や登校する児童生徒に挨拶をする。

※同じ地域の子供として、小中学生が同じ場所で一緒に活動することが重要と考えています。

＜生徒指導についての連携＞

小中学校間で、児童生徒の様子・公園の使い方・SNS関係のトラブル・各校の校則(生活の決まり)などについて、情報共有を図りました。

○地域連携部会より

＜地域連携部会の目指す子供の姿＞

「地域の一員としての自覚を持ち、地域を愛する児童・生徒」

【小中連携クリーン作戦】

- ・地域の落ち葉やごみ拾いをすることによって、自分の住む地域環境を整え、地域の一員としての自覚を促し、地域を大切にする気持ちを育てる。
- ・西多賀中学校、金剛沢小学校、八木山南小学校の3校が連携して、地域の環境美化活動を行うことによって、地域の子供の望ましい成長を支援する。

○西多賀中・金剛沢小

- 1 日時 10月27日(金)
- 2 場所 三神峯公園…西多賀中1・2年生と金剛沢小4年生
天沼公園…西多賀中3年生と金剛沢小3年生

○八木山南小

- 1 日時 11月16日(木)
- 2 場所 学校周辺

※八木山南小は2校と場所が離れているので、別日で単独実施。直接交流はできないが、西多賀中から八木山南小へメッセージを送ることで交流を図る。



【防災訓練】

避難所運営訓練は学校毎に実施されるため、3校合同での訓練は実施できないが、今後それぞれの地区毎の訓練の様子や留意点等の共通理解を図るようにする。